

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館		■担当係	鬼の館
■評価事業名称	常設展・企画展等			
■評価事業コード	402300 - 012	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	鬼について学習する機会を提供することで鬼についての理解や知識が向上する。また、施設開放事業を行うことで市民が博物館施設を活用しやすくなり情報交換が活発化する。常設展示の内容を補足拡大する企画展・特別展や展示室等の施設開放事業を実施する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	企画展・特別展	一般		<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料展「妖怪～古今東西」 6,310人 ・企画展「魔よけ」 5,670人 ・特別展「鬼とよばれたモノたち」 4,057人
02	受付案内・入館料徴収事務	来館者		<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 18,546人 ・リーフレット等印刷(観光用20,000部、25年度版催事カレンダー6,000枚、鬼の館だより1,000部)
03	収蔵資料管理・資料収集業務	鬼の館の資料		<ul style="list-style-type: none"> ・修繕点数 0点 ・購入点数 2点(嫁威肉付き面ほか) ・寄贈資料 63点(メキシコの仮面等)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	1,245	1,777	1,254	1,046	
人件費	7,542	14,213	9,526	6,963	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,787	15,990	10,780	8,009	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	開催回数	6回	6回	3回	3回	年間の企画展・特別展の回数
03	企画展・特別展見学者数	19,462人	19,780人	14,303人	16,037人	企画展・特別展見学者数
04	企画展等1回当たりコスト	3,198千円	2,665千円	3,593千円	2,669千円	フルコスト÷01
05	見学者1人当たりのコスト	0.45千円	0.80千円	0.75千円	0.49千円	フルコスト÷03

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

震災による入館者数の落ち込みはあったものの、若干回復傾向にある。

問題点・課題等

魅力ある展示テーマの設定や調査研究体制の充実のため、学芸系職員の増員が課題。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小・要改善

IV. 民間活用・協働事業化

V. 廃止・休止

VI. 完了

補足説明